

いわぬまダイアリー



岩沼を知ろう「しめ縄作り」

親子で伝統文化に触れるひととき

東子育て支援センターで「しめ縄作り」が開催され、乳幼児親子28組が参加しました。玉浦西まちづくり住民協議会の方を講師にお迎えし、オリジナルのしめ縄作りに挑戦しました。

子どもたちはわらの感触や香りを楽しみ、保護者は縄をなう作業に取り組み、親子で伝統文化に触れました。

参加した保護者は「なかなかしめ縄を作る機会が無いので、今回作ることができて良かった。自宅に飾ろうと思う」と話しました。



▲地域の方に教わり、伝統文化を体験しました



令和8年消防出初式

地域の安全・安心を願って

市役所駐車場で、1年間の無火災を願う「令和8年消防出初式」が開催され、消防団、女性防火クラブ、自衛消防隊など約230人が参加しました。

式典に先立ち、竹駒神社で無火災祈願を行い、神社から市役所まで街頭行進を行いました。

消防団員による実地放水では、市役所の芝生広場に向かって水しぶきが舞い上がり、参加者は無災害・無火災を願いました。



▲無火災を願い一斉に放水を行う様子

まちの出来事や話題を紹介します



租税教室

税金の大切さを学ぶ

岩沼西小学校で6年生169人を対象に「租税教室」が行われました。

この教室は、児童・生徒に税金の意義や役割を正しく理解してもらうことを目的としています。

教室では、税金の種類や使われ方、集め方などの講話に続き「公共施設を作る際の税金の使い道」や「どうしたら税金を公平に集められるか」をテーマにグループワークを行い、税金の役割や大切さを学びました。



▲グループワークでまとめた意見を発表する児童



老後に備える終活セミナー

転ばぬ先の成年後見制度

市民会館で「老後に備える終活セミナー」が開催され、40代から80代までの市民45人が参加しました。

成年後見制度を知り、理解を深めてもらうことを目的としたこのセミナーでは、制度の概要や活用方法、利用に至る前の備え、利用に必要な手続きなどに関して、事例を交えた講話がありました。

参加者は「とてもよく理解できた。制度について知る機会をもっと増やして欲しい」と話しました。



▲真剣に話に聞き入る参加者